ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

充電式噴霧器

モデル MUS103D
モデル MUS153D
モデル MUS104D
モデル MUS154D

このたびは**充電式噴霧器**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

主要機能＼モデル			MUS103D	MUS153D	MUS104D	MUS154D
電動機			直流マグネットモータ			
バッテリ			リチウムイオンバッテリ			
			バッテリ BL1415N		バッテリ BL1815	
電圧			直流 14.4V		直流 18V	
ポンプ型式			セラミックギヤ式			
薬液タンク容量			10L	15L	10L	15L
タンクドレン			無	有	無	有
噴霧バルブ			握りレバー一体式			
本機寸法			幅 315mm × 奥行 225mm × 高さ 415mm	幅 345mm × 奥行 235mm × 高さ 525mm	幅 315mm × 奥行 225mm × 高さ 415mm	幅 345mm × 奥行 235mm × 高さ 525mm
質量			3.6kg	4.0kg	3.8kg	4.1kg
性能	最高圧力		0.3MPa			
	吐出量	縦 2 頭ノズル	0.8（L/ 分）			
		広角除草剤ノズル	1.3（L/ 分）			
	連続作業時間	縦 2 頭ノズル	50（分）		60（分）	
		広角除草剤ノズル	80（分）		90（分）	

充電器	DC18SD
入力電圧	単相交流 100V
入力周波数	50-60Hz
入力容量	125VA
出力電圧	直流 7.2-18V
出力電流	直流 2.6A

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電工具共通の安全上のご注意

JPA002-44

⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）電動工具を示します。

a) 作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
- 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。

3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
- 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
- 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

b) 電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
- 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
- 感電する恐れがあります。

3. 充電工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
- 充電工具内部に水が入り、本機による感電やバッテリが短絡する恐れがあります。

4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。

5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

c) 作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、充電工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。

・ 理解せずに使用することは危険です。

2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、充電工具を使用しないでください。
・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

3. 安全保護具を使用してください。

・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。

4. 不意な始動は避けてください。

・ スイッチに指をかけて運ばないでください。

5. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。

6. 無理な姿勢で作業をしないでください。

・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

7. きちんとした服装で作業してください。

・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

d) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った充電工具を使用してください。

・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。

・ 本機の調整
・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
・ 保管、または修理
・ その他危険が予想される作業

⚠ 警告

4. **使用しない充電工具は、きちんと保管してください。**
・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した鍵のかかる所に保管してください。
5. **充電工具の保守点検をしてください。**
・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. **先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。**
・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. **充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。**
・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
8. **極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。**

e) 充電工具の使用と手入れ
1. **バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。**
・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。
2. **バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。**
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. **マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。**
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. **バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。**
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください。
5. **高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。**
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠警告

f) 整備

1. **充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。**

・ 本機、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

その他の安全事項

1. **損傷した部品がないか点検してください。**

・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. **正しい付属品やアタッチメントを使用してください。**

・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. **材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。**

・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

4. **使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。**
5. **落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。**
6. **ご使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。**

・ 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

7. **ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。**

・ 爆発や火災の恐れがあります。

⚠警告

8. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

9. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

10. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

11. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

12. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
- 発火、破裂の恐れがあります。

13. バッテリに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

14. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

15. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く。）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。バッテリや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
- 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。

16. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式噴霧器安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式噴霧器として、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB190-4

⚠ 警告

1. 本機は防除・除草用の農園芸用薬剤の散布を目的としています。この目的以外には、使用しないでください。
・ 目的以外で使用されますと、事故やけがの原因になります。
2. 薬剤の使用に当たっては、薬剤の説明書をよく読み、毒性・使用方法について熟知してください。
3. 薬剤が皮膚についた時は、直ちに石鹸でよく洗ってください。
4. 薬剤タンク蓋は、濡れないようしっかり締めてください。
5. 薬剤は絶対に別の容器に移し変えないでください。
・ 誤使用、誤飲の危険があります。
6. 薬剤の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬剤メーカの指示に従って、その都度正しく処分してください。
7. 薬剤タンクに薬剤を入れた状態で、自動車等で運搬される場合は、薬液が漏れる可能性がありますので、必ず薬剤タンク蓋をしっかり締めて、本機を傾かない状態に固定してください。
8. 火傷、火災の恐れがありますので強酸性の薬剤・塗料・シンナー・ガソリン・ベンジン等は絶対に使用しないでください。
9. 使用した薬剤が薬剤タンク、噴霧ホース、噴霧管、ノズル等の内部に残っていると薬害を起こす可能性があります。特に除草剤散布に使用した後は、残っている薬剤を清水で十分に洗い流してください。

⚠注意

1. 使用前に接続部のパッキンの脱落がないこと、ネジのゆるみや欠落した部品などがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常がないことを確認してください。
・ 不完全な機械を使用すると事故やけがの原因になります。
2. 防除作業に関係ない人を作業現場に近づかせないように配慮してください。
3. 薬剤を選ぶ際には使用方法、効果を対象物に合わせて適切な薬剤を選択してください。
4. 調合が適切でない薬剤は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。薬剤の調合の際は、薬剤の説明書をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
5. 薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。
6. 薬剤の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護めがね、保護マスク、ゴム手袋、長袖の防除衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行なってください。
7. 運転時は必ずタンクに、薬剤または清水を入れて行なってください。空運転はポンプを傷めることがあります。
8. 動かなくなったり、異常音がした時は直ちにスイッチを OFF にし使用を中止してください。
9. 散布作業中は常に風向きを考え、風上から風下に散布して薬剤が体に直接付着しないように十分注意してください。また、薬剤は周辺に飛散しないように注意し、風が強い場合は作業を中止してください。
10. 薬剤中毒の危険がありますのでハウス内では必ず換気を行いながら作業してください。
11. 気温が高い時の作業はさけてください。
12. 長時間の作業を避け、なるべく作業者を交代して作業を行なうようにしてください。
13. 少しでも頭痛や、めまいなどを感じた場合には直ちに作業を中断し医師の診断を受けてください。また、医師に薬剤名、作業状況を明確に知らせてください。
14. 噴霧状態が悪化した場合等、ノズルを清掃する場合は、顔面などに薬液がかかる恐れがありますので、必ずスイッチを OFF にし、ノズルを取り外して清掃してください。
15. 使用した容器や薬剤タンクを洗浄した廃液は、河川へ流入したり、地下水の汚染することのない場所で適切に処理してください。
16. 残った薬剤は薬剤専用の保管箱へ保管し、子供の手の届かないような場所に保管してください。
17. 作業終了後は機材を清水にて噴霧・洗浄し、水を抜いてから、屋内の直射日光が当たらず、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。
18. 作業終了後は全身を石鹸でよく洗うとともに、目の洗浄とうがいをしてください。作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。

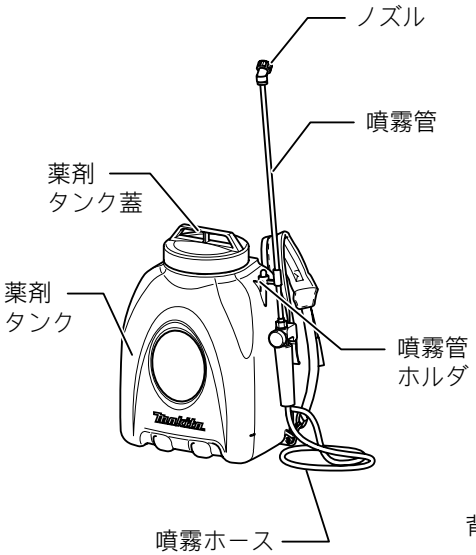
注

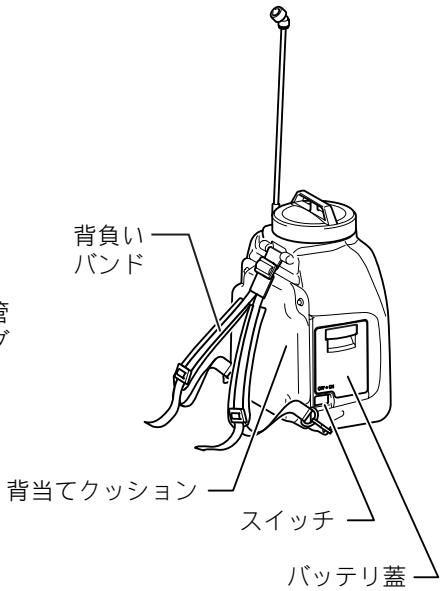
・ 電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
$2.0mm^2$	30m

各部の名称および標準付属品



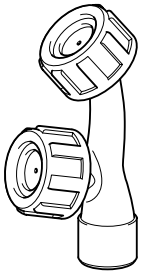


製品の組み合わせおよび標準付属品

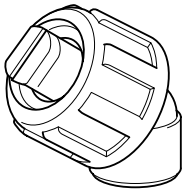
モデル / 標準付属品	MUS103DZ MUS153DZ MUS104DZ MUS154DZ	MUS103DSH MUS153DSH	MUS104DSH MUS154DSH
バッテリ	×	○ BL1415N	○ BL1815
充電器（充電時間）	×	○ DC18SD（約 30 分）	○ DC18SD（約 30 分）
縦 2 頭ノズル	○	○	○
広角除草剤ノズル	○	○	○
噴霧管ホルダ	○	○	○
背負いバンド	○	○	○
バッテリカバー	×	○	○

別販売品のご紹介

ノズル
縦２頭ノズル
コーンタイプ（円錐状）のソフトな噴霧
用途：一般防除用（殺虫剤、殺菌剤）



広角除草剤ノズル
フラットタイプ（扇形状）の粗い噴霧
低圧で一度に広い幅の噴霧が可能
用途：除草剤散布用、散水用、土壌改良剤散布用



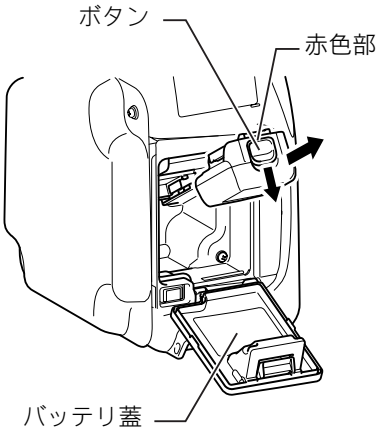
- バッテリ BL1415N （容量 1.5 Ah）
  部品番号：A-58235

- バッテリ BL1815（容量 1.3 Ah）
  部品番号：A-50734

使い方

バッテリの取り付け・取りはずし方

- 本機のバッテリ蓋を開けてください。
- バッテリを本機から取りはずす時は、1. バッテリ正面のボタンを下げながら 2. スライドさせると取りはずせます。
- 取り付ける時は、逆の要領で本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。
- バッテリ蓋をしっかり閉めます。

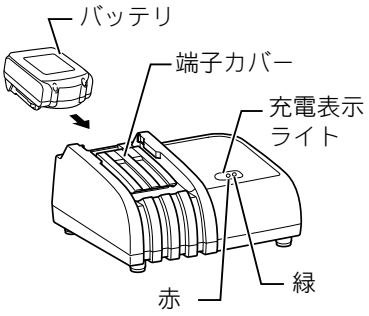


バッテリについて

- お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていません。(スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリの充電方法

1. 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。
   充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。
   充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
4. バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。
（通常充電のライト表示および表示内容）

ライト表示（点滅／点灯）	表示内容
○ 緑	充電前「緑１個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
赤 ○	待機中「赤１個」点滅 バッテリが高温です。バッテリ温度が下がると、自動的に充電開始します。
赤 ○	充電中「赤１個」点灯 バッテリ容量約0～80％を示します。
赤 緑	充電中「赤１個・緑１個」点灯 バッテリ容量約80～100％を示します。
○ 緑	充電完了「緑１個」点灯

（異常時のライト表示および表示内容）

赤 緑	充電不可「赤・緑１個」交互点滅 バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。

注

- DC18SD はマキタバッテリ専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、バッテリの温度が下がると充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリの寿命またはゴミ詰まりで充電できません。
- オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態に応じて変動します。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
  ×充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  ×バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  ×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、2 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない。）

オートメンテナンス機能について

- オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- 下記 1 ～ 4 の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電時間が長くなることがあります。
  1 高温充電の繰り返し
  2 低温充電の繰り返し
  3 満充電バッテリの再充電の繰り返し
  4 過放電の繰り返し
  （過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です）

使い方

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 使用直後などの熱くなったバッテリは、少し冷やしてから充電してください。
・ リチウムイオンバッテリは、長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合、充電して保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

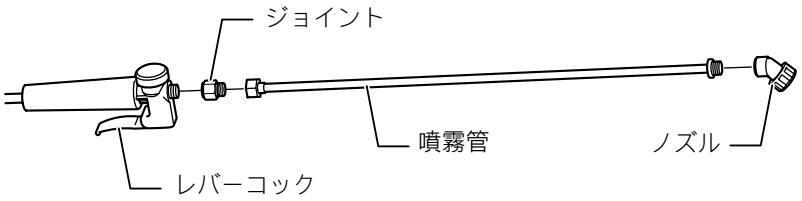
充電器の点検・修理・保管について

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  × 温度や湿度の急変する所
  × 湿気の多い所
  × 直射日光の当たる所
  × 揮発性物質の置いてある所

使い方

噴霧管、ノズルの組み付け方

・ 図のようにレバーコックにジョイント、噴霧管、ノズルの順に組み付けてください。



・ ノズルの向きは噴霧管のナットで調整してください。
・ 液漏れのないようにしっかり取り付けてください。
・ 作業内容に合わせてノズルの選定をしてください。
・ ノズルの仕様は 13 ページを参照してください。

注

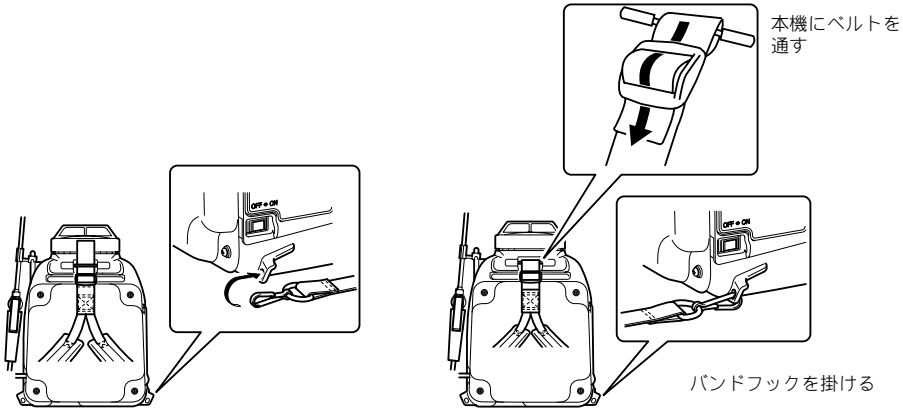
- **各接続部にはパッキンを使用しています。組み付け前に必ずパッキンが付いていることを確認してください。**
- **噴霧ホースに亀裂、摩耗、破損が無いことを確認してください。**
- **噴霧管は液漏れがない様にしっかり締め付けてください。**
- **接続部より漏れる場合は、お手持ちの工具で増締めしてください。**
  ※目安：約 45° 増締めしてください。
- **噴霧管は標準付属品以外の長いものは使用しないでください。**
  接続部の漏れの原因になります。

使い方

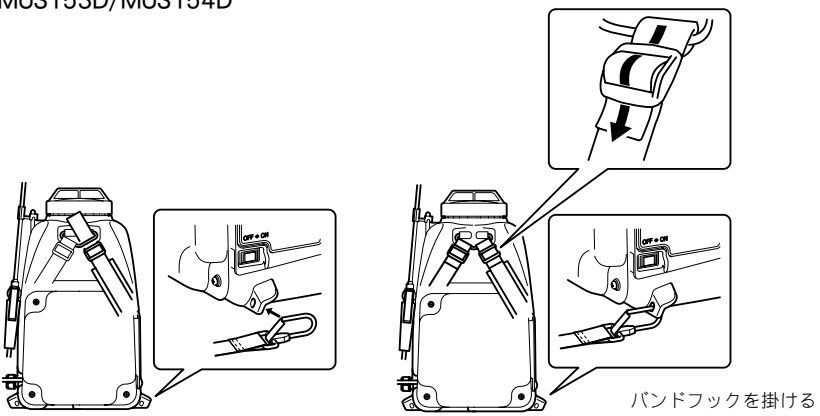
背負いバンドの取り付け方

・ 図の要領で背負いバンド上部、下部を組み付け、ねじり等がないか確認してください。

MUS103D/MUS104D



MUS153D/MUS154D



注

・ 薬剤タンクにバンドがしっかり取り付けられていることを確認してください。

使い方

薬剤の調合

⚠注意

- ケルセン水和剤（殺ダニ剤）は運転中にポンプの発熱により固まる性質があり、ポンプが動かなくなりますので、絶対に使用しないでください。殺ダニ剤を使用する場合は、ケルセン乳剤、アカール乳剤、オサダン水和剤をご使用ください。
- 水和剤・石灰硫黄合剤を使用する場合は、よく溶かしてご使用ください。
- 薬剤の取り扱いは十分注意を払ってください。体に付着した場合はよく洗い流してください。

- 薬剤は有害ですから、取扱いについては必ず薬剤メーカーの指導に従ってください。
- 薬剤を希釈する場合は、下表を参考にすると便利です。
- 水和剤等を使用する場合は、バケツ等の容器によく溶かしてください。

薬 / 水	希釈倍率		
	500 倍	1000 倍	2000 倍
4L	8mL	4mL	2mL
6L	12mL	6mL	3mL
8L	16mL	8mL	4mL
10L	20mL	10mL	5mL
12L	24mL	12mL	6mL
15L	30mL	15mL	7.5mL

使い方

薬剤の充填

⚠警告

薬剤を変更する場合は、タンク、ポンプ、ノズル等を清水で入念に洗ってください。
- 前の薬剤が残っていると薬害を起こす原因になります。また薬剤が混ざると化学変化を起こし有毒ガスが発生する恐れがあります。

保護用手袋をしてください。
換気の悪い場所では作業しないでください。(薬剤による中毒防止)

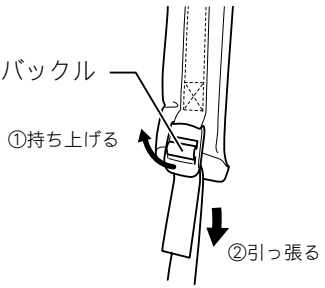
- スイッチが OFF になっていることを確認し、調合した薬剤を薬剤タンクに充填します。
- タンクに薬剤を入れる時は、必ず備え付けのタンクストレーナ（こし網）を通してください。
- 薬剤タンク側面に目盛りが付いていますので、作業の目安としてください。
- 薬剤タンク蓋は、薬剤が漏れないように、しっかり締めてください。

背負いバンドの調整

- 本機が出来るだけ体に近くなるように、背負いバンドの長さを調整してください。

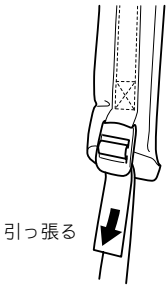
バンドを緩める時

① バックルを持ち上げる。
② ベルトの本機についている側を引っ張る。



バンドを縮める時

ベルトのフリーになっている側を引っ張る。



注

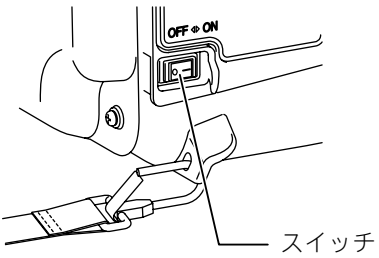
- **バンドを縮める際、バンドに重量を加えないようにすると、スムースに動きます。**

噴霧作業

⚠注意

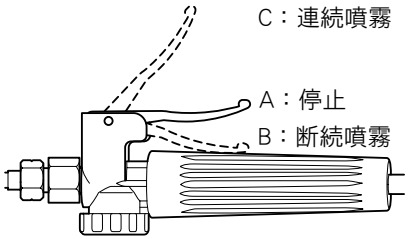
突然の噴霧を防ぐため、スイッチの ON、OFF の切り替えは、レバーコックを停止状態にして行ってください。
散布作業を中断するときは、不用意な散布を防止するため、スイッチを OFF にしてください。

- 周囲の状況を確認し薬剤タンクのスイッチを ON にします。
- レバーコックを操作して噴霧作業を行います。
- 散布が終了したら直ちにレバーコックを停止状態にして、スイッチを OFF にしてください。



レバーコックの取り扱い方法

1. A の位置が停止です。
2. B の位置にすると噴霧し、レバーを離すと A の位置に戻り噴霧は停止します。(断続噴霧)
3. Cの位置にすると連続して噴霧します。(連続噴霧)



注

- 薬剤タンクに薬剤または清水が入っていることを確認してください。空運転を続けるとポンプが焼き付くことがあります。
- レバーコックが停止の状態で長時間運転すると、バッテリを消費するだけでなく、ポンプにも悪影響を与える場合があります。こまめにスイッチを OFF にしてください。
- 噴霧がとぎれたり、ポンプの音が急に高い音になったときは、薬剤タンクが空になっていますので、すぐにスイッチを OFF にしてください。
- 電気系統が故障する恐れがありますので、バッテリの蓋を開けたままや、背当てクッションを取りはずした状態で作業をしないでください。また本機に向けて噴霧しないでください。
- レバーコック・噴霧管は乱暴に取り扱わないでください。

保守・点検について

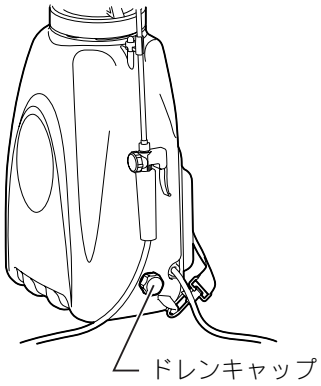
使用後のお手入れ

⚠警告

点検・整備の際には、必ずスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。バッテリを本機に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

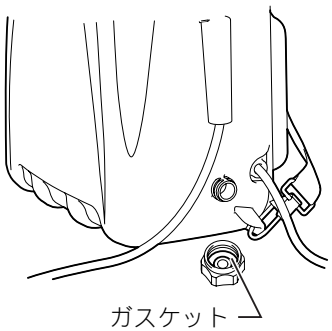
・ 点検・整備の際には、必ず保護用手袋をしてください。

・ 使用後は薬剤タンク内の残液を抜き、薬剤タンク内面に付着した薬剤を清水できれいに洗い流してください。
・ MUS153D/MUS154D は、薬剤タンク側面のタンクドレンのドレンキャップを取りはずして残液を抜いてください。



注

・ ドレンキャップのガスケットを紛失しないように注意してください。



・ 再度薬剤タンク内に清水を入れポンプを 2 ～ 3 分間運転し、ポンプ、ホース、ノズル等の内部に残っている薬剤もきれいに洗い流してください。
・ 薬剤タンク内の残液を抜き、再度ポンプを運転し、ノズルから残液が出なくなったら、スイッチを OFF にしてください。
・ 機材の水分、汚れを拭き取り、傷や漏れがないかチェックしてください。

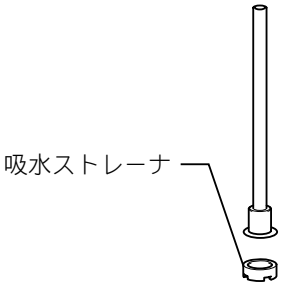
保守・点検について

日常点検

・ 作業の前､各締付部のゆるみ､無くなっている部品がないか調べてください。
・ 噴霧ホースに亀裂、摩耗、破損が無いことを確認してください。
・ 使用後は毎回外部の汚れを拭き取り、傷や漏れがないかチェックしてください。

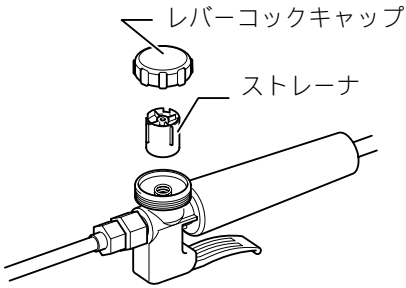
吸水ストレーナの清掃

・ タンク内から薬剤を出したあと、薬剤タンクの底にある吸水ストレーナを取りはずして清掃してください。



レバーコックストレーナの清掃

・ レバーコックキャップをはずしストレーナを清掃してください。



注

・ 吸水ストレーナ
タンクストレーナを通ったり、何らかの原因でタンク内に入ったゴミや塵がポンプ内に入らないためのフィルタです。吸水ストレーナが詰まると、噴霧状態が悪化したり、ポンプにも悪影響を与える恐れがあります。

・ レバーコックストレーナ
レバーコックストレーナが詰まると、噴霧状態が悪化します。

保守・点検について

本機の保管

・ 使用後のお手入れの手順（23 ページ）にて機材の洗浄をしてください。
・ 特に冬季の保管ではポンプ内に薬剤、洗浄水が残っていると凍結により故障、破損の原因となります。ノズルから残液が出なくなるまでポンプを運転し、残液が無くなったことを確認してスイッチを OFF にして保管するようにしてください。

⚠注意

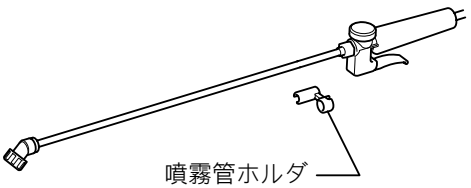
屋内の直射日光が当たらず、風通しがよく、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。

・ プラスチック部品は直射日光に長時間さらされると、著しく強度が低下する場合があります。また注意ラベルも変色したりはげやすくなったりしますので、保管は十分注意してください。

便利な使い方

1. 噴霧管ホルダ

方向を間違えずに取り付けてください。



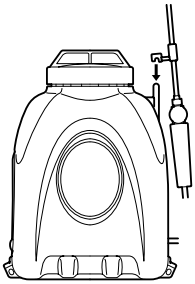
注

・ 構造上、取り付けには力を必要としますが、噴霧管を曲げないようご注意ください。

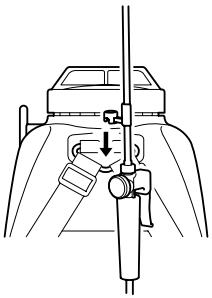
保守・点検について

休憩、薬液補給、保管格納時等にお使いください。

タンク肩部の突起に掛ける場合



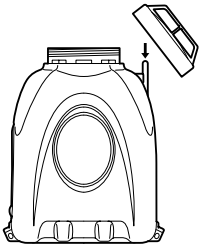
背負いバンド金具に掛ける場合



(MUS153D/MUS154D のみ)

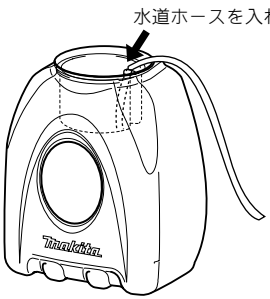
2. 薬剤タンク突起部

突起部は薬剤タンク蓋の仮置き場ともなります。



3. タンクストレーナ

タンクストレーナの切り欠き部に水道ホースを挿入すると手を離すことができ、便利にお使いいただけます。



主な病害虫について

●薬剤の取扱いについては、必ず薬剤メーカーの指導に従ってください。
●薬剤は、よく溶かしてから、使用してください。

	名称	症状	対策（薬剤名）
虫	アブラムシ類	新芽・新梢や葉裏に群棲する 1.5 ～ 3 mm くらいの小さな虫が汁を吸っている。枯れることはないが生育が悪くなる。	繁殖力が旺盛なため長時間効果の続くオルトラン水和剤が最適。アクテリック乳剤、スミチオン乳剤などは発生の都度こまめに噴霧。
	ハダニ類	体長 0.5 mm くらいで、主に葉裏に寄生して汁を吸っており、葉裏から見ると白くカスリ状になる。生育は悪くなり、落葉枯死することもある。	クモの仲間の害虫であり、一般的に卵・幼虫・成虫まで一度に退治する。アカール乳剤などを噴霧。
	カイガラ虫類	種類は多く、枝や葉などに固着し表面がロウ質分で覆われている。樹汁を吸って加害しているため生育が悪くなり、スス病の原因にもなる。	5 ～ 7 月の幼虫期にオルトラン水和剤、アクテリック乳剤などを月 2 ～ 3 回樹全体にていねいに噴霧。冬期に越冬成虫をマシン油乳剤や石灰硫黄合剤を噴霧して殺す。
	ケムシ類 アオムシ類	チョウやガの幼虫で花や茎、葉などを食害しひどい場合は丸坊主になり、草花類は枯れ、庭木類は衰弱する。	小さい若令幼虫期に防除することが大切。オルトラン水和剤、アクテリック乳剤、スミチオン乳剤などを噴霧。
	ハマキムシ類	葉を巻いたり、数枚つづり合わせてその中に棲息し、葉を食害する。	葉を巻く前の若令幼虫期ではアクテリック乳剤やスミチオン乳剤などを噴霧。その後は浸透性のオルトラン水和剤が効果的である。
	ヨトウムシ	若令幼虫は葉裏などにいるが、成虫は昼間隠れて夜間食害するため発見は難しい。著しい時は、丸坊主になる。	若令期にオルトラン水和剤やアクテリック乳剤を噴霧。

保守・点検について

	名称	症状	対策（薬剤名）
病気	うどんこ病	うどん粉をまぶしたような花弁、蕾、花梗や葉が白くなる。	発生を認めたらベンレート水和剤、モレスタン水和剤、サブロール乳剤などを噴霧。
	斑点性病害（黒星病、炭ソ病など多数の病気）	葉の緑から褐色に変色してきたり、葉に褐色・白・黒などの斑点を生じる病気で、カビ性と細菌性のものがある。	カビ性のものが多く、マンネブダイセン水和剤などを数回噴霧。細菌性にはマイシンＳなどを噴霧。
	灰色かび病（ボトリチス病）	花弁や果実にしみ状の斑点ができ、次第に広がって最後に灰色のカビが生えてくる。	ロブラール水和剤が効果的。ベンレート水和剤やダコニールでも効果がある。
	すす病	葉や幹、枝などが、ススをかぶったように黒ずんでくる。生育が悪くなるとともに美観が著しく損なわれる。	すす病自体はベンレート水和剤を噴霧すればきれいになるが、カイガラムシなど、原因になる害虫を退治しないとすぐ再発する。
	さび病	葉の裏面にやや隆起したかさぶたのような病斑をつくるのが特徴である。病斑は赤・黄・白・黒など様々な色をしている。	マンネブダイセン水和剤、ベンレート水和剤、サブロール乳剤を発生初期に数回連続して噴霧。

保守・点検について

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、まずご自身で点検を行い、その上でなお異常があるときは、取扱説明書の記載内容以外はむやみに分解しないで、お買い上げの販売店または、当社営業所へお申し付けください。

不具合の状況		原因	対応
モータ（ポンプ）が回らない	スイッチ OFF	スイッチが OFF	スイッチを ON にする
	スイッチ ON	バッテリ異常（電圧低下）	充電する 充電しても効果がない場合は、バッテリを交換する。
		配線コネクタのはずれ	点検整備を依頼してください。
		配線の断線	点検整備を依頼してください。
		スイッチの故障	点検整備を依頼してください。
		モータの故障	点検整備を依頼してください。
		ヒューズの切れ	点検整備を依頼してください。
ポンプは回転しているが噴霧しない		ノズルの詰まり	清掃、または交換する
		薬液タンクに液がない	補給する
		薬剤タンク蓋の空気穴の詰まり	清掃する
		配管の詰まり	点検整備を依頼してください。
		配管の破れ、亀裂	点検整備を依頼してください。
		配管のはずれ、つぶれ	点検整備を依頼してください。
		吸水ストレーナの詰まり	はずして清掃する

保守・点検について

不具合の状況	原因	対応
噴霧はするが異常である、または噴霧圧力が低い	薬剤タンク蓋の空気穴の詰まり	清掃する
	配管の詰まり	点検整備を依頼してください。
	配管の破れ、亀裂	点検整備を依頼してください。
	配管のはずれ、つぶれ	点検整備を依頼してください。
	吸水ストレーナの詰まり	はずして清掃する
	レバーコックストレーナの詰まり	はずして清掃する
	調圧弁の異常	点検整備を依頼してください。
	ギヤケースの摩耗	点検整備を依頼してください。
スイッチ ON にすると異音がする	ポンプを駆動するカップリングの破損	点検整備を依頼してください。
	ノズルの詰まり	清掃、または交換する
スイッチを OFF にして放置しておくと、ノズルから多量の液が流れる	レバーコックが連続噴霧状態になっている	レバーコックを停止状態にする

本機のお手入れ

・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

メモ

882698B3
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）